

ニコンのサステナビリティ

ニコングループでは、企業理念である「信頼と創造」を事業活動の中で具現化することで、持続可能な社会への貢献と自社の持続的成長の双方を目指します。具体的には、事業、環境、社会・労働、ガバナンスの4分野、12のマテリアリティ(重点課題)に取り組むことで、社会課題の解決やSDGs達成に貢献する価値を「創造」とするとともに、自社事業が社会に与える影響を評価・改善し続け、社会の期待に「信頼」で応えていきます。

サステナブルな社会

健全な環境

豊かな社会

心と体の健康

ニコンの貢献領域

安全・労働環境

(省人化/自動化/カスタム化)

脱炭素

資源循環

健康

(医療の高精度化/個別化医療)

心の豊かさ

(教育×デジタル)

12のマテリアリティ
(重点課題)

- ①コア技術による社会価値創造
- ②信頼に応える品質の維持・向上



- ③脱炭素化の推進
- ④資源循環の推進
- ⑤汚染防止と生態系への配慮



- ⑥レジリエントなサプライチェーンの構築
- ⑦人権の尊重
- ⑧ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン
- ⑨従業員の健康と安全



- ⑩コンプライアンスの徹底
- ⑪コーポレート・ガバナンスの強化
- ⑫リスクマネジメントの強化



社会・環境に配慮した「事業」により社会的価値を生み出す

[2050年度までのネットゼロ*達成に向けた2030年度目標]

■事業所からの温室効果ガス57%削減(2022年度比)

*バリューチェーン全体における温室効果ガス排出量(Scope1,2,3)を90%削減し、残余排出量は国際的に認められる手段によって中和する。

[SDGsにかかわる主な取り組み]

■2023年度、事業所からの温室効果ガス67%削減実現(2013年度比)

■2023年度再生可能エネルギー利用率69%、再エネ率100%達成目標年を2050年度から2030年度に前倒し

■ニコングローバルDEIポリシー制定、多様性を活かす経営に向けグローバル全拠点で施策展開

■2023年度新卒女性採用比率34.1%(目標25%以上)、女性管理職比率7.8%(目標7.5%以上)